



今月は「ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン」についてお話しします。HPVワクチンは、一時、接種の積極的勧奨を差し控えられていた時期がありますが、国によってワクチンの安全性について特段の懸念が認められないこと、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ることが認められたことから、現在は接種の積極的勧奨が再開されています。小学校6年生～高校1年生の女子が定期接種の対象ですが、接種機会を逃した方も公費で接種できるようになりました（キャッチアップ接種）。

## ■ヒトパピローマウイルス（HPV）とは

HPVは、主に性器接触・性行為によって感染し、生殖器やその周辺の粘膜にイボをつくるウイルスです。子宮頸がんの95%以上は、HPVの感染が原因といわれています。日本で、子宮頸がんにかかる女性は年間約1.1万人で、約2,900人の女性が亡くなっています。

HPVに感染した場合、ほとんどは自然に治りますが、数%は持続的に感染し、がんに至ります。またHPVは、肛門がんや咽頭がんの一部、尖圭コンジローマなど、多くの病気の発生に関わっています。HPVワクチンとは、このHPVの感染を防ぐワクチンです。

## ■HPVワクチンについて

HPVワクチンは3種類あります。

- ・ 2価ワクチン 子宮頸がんの約6割～7割を占める原因であるHPV16/18型感染を予防します。
- ・ 4価ワクチン HPV16/18型感染とともに、男女の生殖器周りにイボを引き起こすHPV6/11型も予防します。
- ・ 9価ワクチン 4価に加えて、HPV31/33/45/52/58型も予防。子宮頸がんの9割以上を予防することが期待されています。

現在、定期接種として、公費（無料）での接種が可能なのは女性のみですが、任意（有料）で男性も接種することができます。国では、HPVワクチンの男性の定期接種化も検討しています。

厚生労働省による審議会（ワクチンに関する専門家の会議）では、一定期間ごとワクチンの安全性を継続して確認しています。ワクチン接種によって医療機関での治療が必要になったり健康被害が生じた場合には、申請し認定されると法律に基づく救済が受けられます（予防接種健康被害救済制度）。

## ■キャッチアップ接種について

**対象** 平成9年度（1997年4月2日～）以降に生まれた女性で、過去にHPVワクチンを計3回受けていない方。

**期間** 令和7年3月末まで



## ■子宮頸がん予防のために

子宮頸がんワクチン接種とがん検診を組み合わせることで、病気の予防と早期発見、早期治療につながります。がん検診は、加入している健康保険の種類に関係なく、安平町では全員無料で受けられます。ワクチン接種は、町内の2医療機関で打つことができます。事前に電話でご予約のうえ、受診してください。

【参考】厚生労働省ホームページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv\\_catch-up-vaccination.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html)